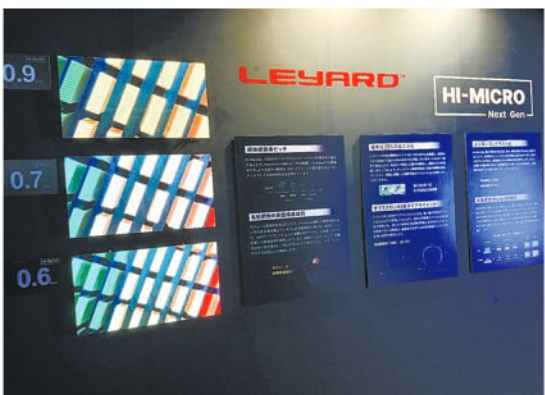


Inter BEE 2025 レポート ④



レイヤード独自の新技术「Hi-Micro」を採用した「MG-2 HMT」シリーズ



HI-MICROのラインアップ

レイヤードが独自開発
「Hi-Micro」搭載の
超高精細LEDを日本初披露

レイヤード（ジャパン）は、独自開発の超高精細LED技術を中心とした新製品群を展示した。今回、国内初披露となった「MG-2 HMT」シリーズは、レイヤード独自の新技术「Hi-Micro」を採用した常設置用の超高精細LEDディスプレイ。Hi-Microは、非基板型フルリップチップ構造と省エネチップ（LYD 23221）を組み合わせたもので、最大25%の消費電力削減を実現。黒色面積比99%超という驚異的な数値により、コントラスト比と映像深度の向上にも寄与している。会場では、0.7mmピッチの大画面展示を中

心に、0.6mm、0.9mmの比較展示も実施し、多くの来場者が画素ピッチの違いによる映像体験の差を体感した。同社代表取締役の三浦氏は「当社は、狭ピッチにフォーカスし、今後もPO・6、PO・7、PO・9に加えてP1・2、P1・5の展開も計画している。Hi-Microは全て自社開発・自社製造だ。日本市場の常設ニーズの確に臨みたいと考えている」と説明する。

CLO M4シリーズは、独自開発の1415タイプブラックSMDとLight Trap Black Maskを搭載し、屋外での視認性・明るさ環境でもしっかりと投写できる高輝度性能で、多用途での高レベルな映像演出を可能にする。須貝氏は「プロジェクトも、映像の完成形を構成するパーツ。現場でどう見えるか、どう扱いやすいかが重要だ。今回はその両面を体験できる展示にした」と説明する。

ブース内では、PIXELHUE社製の「Q8スウィッチャーシステム」が注目を集めている。同社は「QDX N4K45」。今回が日本初上陸というこの機種は、3万7500の外高輝度を実現し、重量は79kg。大型ステージや展示会場、常設施設などでの使用を想定し、ネイティブ4Kならではの高精細な映像表現と、合成処理でも遅延やノイズのない安定した運用を参考出展。透過率80%の軽量化設計、バトン吊り対応など空間演出におけるのりかもしれない。で「新ナタル」を目指し、機材の在り方を考え続けている。現場が「一番よく知っている」と須貝氏は強調した。

また、軽量化かつ堅牢な独自設計フレーム構造を採用し、レイヤードジャパンとの共同開発によってオリジナル製品化された。同社取締役の須貝章則氏は「当社はレンタル会

社として、現場で求められる「止まらない機材」を開発してきた。設計思想の中心には、実際に機材を使うエンジニアの声がある」と語る。LEDパネルと並ぶ注目製品が、バルコ社製の「ネイティブ4K 3DLプレーヤープロジェクター「QDX N4K45」。今回が日本初上陸というこの機種は、3万7500の外高輝度を実現し、重量は79kg。大型ステージや展示会場、常設施設などでの使用を想定し、ネイティブ4Kならではの高精細な映像表現と、合成処理でも遅延やノイズのない安定した運用を参考出展。透過率80%の軽量化設計、バトン吊り対応など空間演出におけるのりかもしれない。で「新ナタル」を目指し、機材の在り方を考え続けている。現場が「一番よく知っている」と須貝氏は強調した。

KECは長年にわたり、プロジェクトスクリーンの電動巻き上げ装置を手掛けており、今回SCENIC社製のLEDスクリーンと自社の巻き取り装置を融合。日本市場向けイベント業界関係者やAV機器導入担当者からは、「設置・撤去の手間が大幅に削減できる」「運搬・保管コストを抑えられる」といった声が上がっているという。

エルテック
「現場仕様」の次世代LED
4Kプロジェクションも公開

エルテックのLEDパネル「imax Light 5dr」

映像機材レンタルの専門企業であるエルテックは、現場の視点から生まれたという製品群を初公開した。それは、2種

また、軽量化かつ堅牢な独自設計フレーム構造を採用し、レイヤードジャパンとの共同開発によってオリジナル製品化された。同社取締役の須貝章則氏は「当社はレンタル会

社として、現場で求められる「止まらない機材」を開発してきた。設計思想の中心には、実際に機材を使うエンジニアの声がある」と語る。LEDパネルと並ぶ注目製品が、バルコ社製の「ネイティブ4K 3DLプレーヤープロジェクター「QDX N4K45」。今回が日本初上陸というこの機種は、3万7500の外高輝度を実現し、重量は79kg。大型ステージや展示会場、常設施設などでの使用を想定し、ネイティブ4Kならではの高精細な映像表現と、合成処理でも遅延やノイズのない安定した運用を参考出展。透過率80%の軽量化設計、バトン吊り対応など空間演出におけるのりかもしれない。で「新ナタル」を目指し、機材の在り方を考え続けている。現場が「一番よく知っている」と須貝氏は強調した。

KECは長年にわたり、プロジェクトスクリーンの電動巻き上げ装置を手掛けており、今回SCENIC社製のLEDスクリーンと自社の巻き取り装置を融合。日本市場向けイベント業界関係者やAV機器導入担当者からは、「設置・撤去の手間が大幅に削減できる」「運搬・保管コストを抑えられる」といった声が上がっているという。

また、軽量化かつ堅牢な独自設計フレーム構造を採用し、レイヤードジャパンとの共同開発によってオリジナル製品化された。同社取締役の須貝章則氏は「当社はレンタル会

社として、現場で求められる「止まらない機材」を開発してきた。設計思想の中心には、実際に機材を使うエンジニアの声がある」と語る。LEDパネルと並ぶ注目製品が、バルコ社製の「ネイティブ4K 3DLプレーヤープロジェクター「QDX N4K45」。今回が日本初上陸というこの機種は、3万7500の外高輝度を実現し、重量は79kg。大型ステージや展示会場、常設施設などでの使用を想定し、ネイティブ4Kならではの高精細な映像表現と、合成処理でも遅延やノイズのない安定した運用を参考出展。透過率80%の軽量化設計、バトン吊り対応など空間演出におけるのりかもしれない。で「新ナタル」を目指し、機材の在り方を考え続けている。現場が「一番よく知っている」と須貝氏は強調した。

KECは長年にわたり、プロジェクトスクリーンの電動巻き上げ装置を手掛けており、今回SCENIC社製のLEDスクリーンと自社の巻き取り装置を融合。日本市場向けイベント業界関係者やAV機器導入担当者からは、「設置・撤去の手間が大幅に削減できる」「運搬・保管コストを抑えられる」といった声が上がっているという。

また、軽量化かつ堅牢な独自設計フレーム構造を採用し、レイヤードジャパンとの共同開発によってオリジナル製品化された。同社取締役の須貝章則氏は「当社はレンタル会

社として、現場で求められる「止まらない機材」を開発してきた。設計思想の中心には、実際に機材を使うエンジニアの声がある」と語る。LEDパネルと並ぶ注目製品が、バルコ社製の「ネイティブ4K 3DLプレーヤープロジェクター「QDX N4K45」。今回が日本初上陸というこの機種は、3万7500の外高輝度を実現し、重量は79kg。大型ステージや展示会場、常設施設などでの使用を想定し、ネイティブ4Kならではの高精細な映像表現と、合成処理でも遅延やノイズのない安定した運用を参考出展。透過率80%の軽量化設計、バトン吊り対応など空間演出におけるのりかもしれない。で「新ナタル」を目指し、機材の在り方を考え続けている。現場が「一番よく知っている」と須貝氏は強調した。

類のLEDコントローラー（Brompton社／Novastar社）に対応するダブルレシーバーカードの内蔵という構成だ。現場で使用中に方が一トラブルが起きても、即座に切り替え復旧が可能で、ノーダウンタイム運用を実現する。



PIXELHUE社製Q8スウィッチャーシステム

また、軽量化かつ堅牢な独自設計フレーム構造を採用し、レイヤードジャパンとの共同開発によってオリジナル製品化された。同社取締役の須貝章則氏は「当社はレンタル会

社として、現場で求められる「止まらない機材」を開発してきた。設計思想の中心には、実際に機材を使うエンジニアの声がある」と語る。LEDパネルと並ぶ注目製品が、バルコ社製の「ネイティブ4K 3DLプレーヤープロジェクター「QDX N4K45」。今回が日本初上陸というこの機種は、3万7500の外高輝度を実現し、重量は79kg。大型ステージや展示会場、常設施設などでの使用を想定し、ネイティブ4Kならではの高精細な映像表現と、合成処理でも遅延やノイズのない安定した運用を参考出展。透過率80%の軽量化設計、バトン吊り対応など空間演出におけるのりかもしれない。で「新ナタル」を目指し、機材の在り方を考え続けている。現場が「一番よく知っている」と須貝氏は強調した。

また、軽量化かつ堅牢な独自設計フレーム構造を採用し、レイヤードジャパンとの共同開発によってオリジナル製品化された。同社取締役の須貝章則氏は「当社はレンタル会

社として、現場で求められる「止まらない機材」を開発してきた。設計思想の中心には、実際に機材を使うエンジニアの声がある」と語る。LEDパネルと並ぶ注目製品が、バルコ社製の「ネイティブ4K 3DLプレーヤープロジェクター「QDX N4K45」。今回が日本初上陸というこの機種は、3万7500の外高輝度を実現し、重量は79kg。大型ステージや展示会場、常設施設などでの使用を想定し、ネイティブ4Kならではの高精細な映像表現と、合成処理でも遅延やノイズのない安定した運用を参考出展。透過率80%の軽量化設計、バトン吊り対応など空間演出におけるのりかもしれない。で「新ナタル」を目指し、機材の在り方を考え続けている。現場が「一番よく知っている」と須貝氏は強調した。

また、軽量化かつ堅牢な独自設計フレーム構造を採用し、レイヤードジャパンとの共同開発によってオリジナル製品化された。同社取締役の須貝章則氏は「当社はレンタル会

社として、現場で求められる「止まらない機材」を開発してきた。設計思想の中心には、実際に機材を使うエンジニアの声がある」と語る。LEDパネルと並ぶ注目製品が、バルコ社製の「ネイティブ4K 3DLプレーヤープロジェクター「QDX N4K45」。今回が日本初上陸というこの機種は、3万7500の外高輝度を実現し、重量は79kg。大型ステージや展示会場、常設施設などでの使用を想定し、ネイティブ4Kならではの高精細な映像表現と、合成処理でも遅延やノイズのない安定した運用を参考出展。透過率80%の軽量化設計、バトン吊り対応など空間演出におけるのりかもしれない。で「新ナタル」を目指し、機材の在り方を考え続けている。現場が「一番よく知っている」と須貝氏は強調した。

近畿エデュケーションセンター

中国・SCENIC社製品

日本仕様のLED販売を開始

KECは長年にわたり、プロジェクトスクリーンの電動巻き上げ装置を手掛けており、今回SCENIC社製のLEDスクリーンと自社の巻き取り装置を融合。日本市場向けイベント業界関係者やAV機器導入担当者からは、「設置・撤去の手間が大幅に削減できる」「運搬・保管コストを抑えられる」といった声が上がっているという。

また、軽量化かつ堅牢な独自設計フレーム構造を採用し、レイヤードジャパンとの共同開発によってオリジナル製品化された。同社取締役の須貝章則氏は「当社はレンタル会

社として、現場で求められる「止まらない機材」を開発してきた。設計思想の中心には、実際に機材を使うエンジニアの声がある」と語る。LEDパネルと並ぶ注目製品が、バルコ社製の「ネイティブ4K 3DLプレーヤープロジェクター「QDX N4K45」。今回が日本初上陸というこの機種は、3万7500の外高輝度を実現し、重量は79kg。大型ステージや展示会場、常設施設などでの使用を想定し、ネイティブ4Kならではの高精細な映像表現と、合成処理でも遅延やノイズのない安定した運用を参考出展。透過率80%の軽量化設計、バトン吊り対応など空間演出におけるのりかもしれない。で「新ナタル」を目指し、機材の在り方を考え続けている。現場が「一番よく知っている」と須貝氏は強調した。

また、軽量化かつ堅牢な独自設計フレーム構造を採用し、レイヤードジャパンとの共同開発によってオリジナル製品化された。同社取締役の須貝章則氏は「当社はレンタル会

社として、現場で求められる「止まらない機材」を開発してきた。設計思想の中心には、実際に機材を使うエンジニアの声がある」と語る。LEDパネルと並ぶ注目製品が、バルコ社製の「ネイティブ4K 3DLプレーヤープロジェクター「QDX N4K45」。今回が日本初上陸というこの機種は、3万7500の外高輝度を実現し、重量は79kg。大型ステージや展示会場、常設施設などでの使用を想定し、ネイティブ4Kならではの高精細な映像表現と、合成処理でも遅延やノイズのない安定した運用を参考出展。透過率80%の軽量化設計、バトン吊り対応など空間演出におけるのりかもしれない。で「新ナタル」を目指し、機材の在り方を考え続けている。現場が「一番よく知っている」と須貝氏は強調した。

また、軽量化かつ堅牢な独自設計フレーム構造を採用し、レイヤードジャパンとの共同開発によってオリジナル製品化された。同社取締役の須貝章則氏は「当社はレンタル会

社として、現場で求められる「止まらない機材」を開発してきた。設計思想の中心には、実際に機材を使うエンジニアの声がある」と語る。LEDパネルと並ぶ注目製品が、バルコ社製の「ネイティブ4K 3DLプレーヤープロジェクター「QDX N4K45」。今回が日本初上陸というこの機種は、3万7500の外高輝度を実現し、重量は79kg。大型ステージや展示会場、常設施設などでの使用を想定し、ネイティブ4Kならではの高精細な映像表現と、合成処理でも遅延やノイズのない安定した運用を参考出展。透過率80%の軽量化設計、バトン吊り対応など空間演出におけるのりかもしれない。で「新ナタル」を目指し、機材の在り方を考え続けている。現場が「一番よく知っている」と須貝氏は強調した。

また、軽量化かつ堅牢な独自設計フレーム構造を採用し、レイヤードジャパンとの共同開発によってオリジナル製品化された。同社取締役の須貝章則氏は「当社はレンタル会

社として、現場で求められる「止まらない機材」を開発してきた。設計思想の中心には、実際に機材を使うエンジニアの声がある」と語る。LEDパネルと並ぶ注目製品が、バルコ社製の「ネイティブ4K 3DLプレーヤープロジェクター「QDX N4K45」。今回が日本初上陸というこの機種は、3万7500の外高輝度を実現し、重量は79kg。大型ステージや展示会場、常設施設などでの使用を想定し、ネイティブ4Kならではの高精細な映像表現と、合成処理でも遅延やノイズのない安定した運用を参考出展。透過率80%の軽量化設計、バトン吊り対応など空間演出におけるのりかもしれない。で「新ナタル」を目指し、機材の在り方を考え続けている。現場が「一番よく知っている」と須貝氏は強調した。

また、軽量化かつ堅牢な独自設計フレーム構造を採用し、レイヤードジャパンとの共同開発によってオリジナル製品化された。同社取締役の須貝章則氏は「当社はレンタル会

社として、現場で求められる「止まらない機材」を開発してきた。設計思想の中心には、実際に機材を使うエンジニアの声がある」と語る。LEDパネルと並ぶ注目製品が、バルコ社製の「ネイティブ4K 3DLプレーヤープロジェクター「QDX N4K45」。今回が日本初上陸というこの機種は、3万7500の外高輝度を実現し、重量は79kg。大型ステージや展示会場、常設施設などでの使用を想定し、ネイティブ4Kならではの高精細な映像表現と、合成処理でも遅延やノイズのない安定した運用を参考出展。透過率80%の軽量化設計、バトン吊り対応など空間演出におけるのりかもしれない。で「新ナタル」を目指し、機材の在り方を考え続けている。現場が「一番よく知っている」と須貝氏は強調した。

また、軽量化かつ堅牢な独自設計フレーム構造を採用し、レイヤードジャパンとの共同開発によってオリジナル製品化された。同社取締役の須貝章則氏は「当社はレンタル会

社として、現場で求められる「止まらない機材」を開発してきた。設計思想の中心には、実際に機材を使うエンジニアの声がある」と語る。LEDパネルと並ぶ注目製品が、バルコ社製の「ネイティブ4K 3DLプレーヤープロジェクター「QDX N4K45」。今回が日本初上陸というこの機種は、3万7500の外高輝度を実現し、重量は79kg。大型ステージや展示会場、常設施設などでの使用を想定し、ネイティブ4Kならではの高精細な映像表現と、合成処理でも遅延やノイズのない安定した運用を参考出展。透過率80%の軽量化設計、バトン吊り対応など空間演出におけるのりかもしれない。で「新ナタル」を目指し、機材の在り方を考え続けている。現場が「一番よく知っている」と須貝氏は強調した。

また、軽量化かつ堅牢な独自設計フレーム構造を採用し、レイヤードジャパンとの共同開発によってオリジナル製品化された。同社取締役の須貝章則氏は「当社はレンタル会

電動巻き取り式LEDスクリーンと床置きロールスクリーンの実機展示